

情報活用能力育成研修の手引き

JAPET & CEC (一般社団法人 日本教育情報化振興会)
情報活用能力育成調査研究委員会

1、目的

この研修では、情報活用能力を育成するための学習過程を理解するとともに、自分自身の授業改善に生かすことを目的とします。つまり、「情報活用能力を育成するために自分自身の授業をどのように改善するか」ということが課題ということになります。また、本研修の流れそのものが、情報活用能力を育成する学習過程になっていますので、その学習を体験的に理解することができるようになっています。

2、研修の流れ

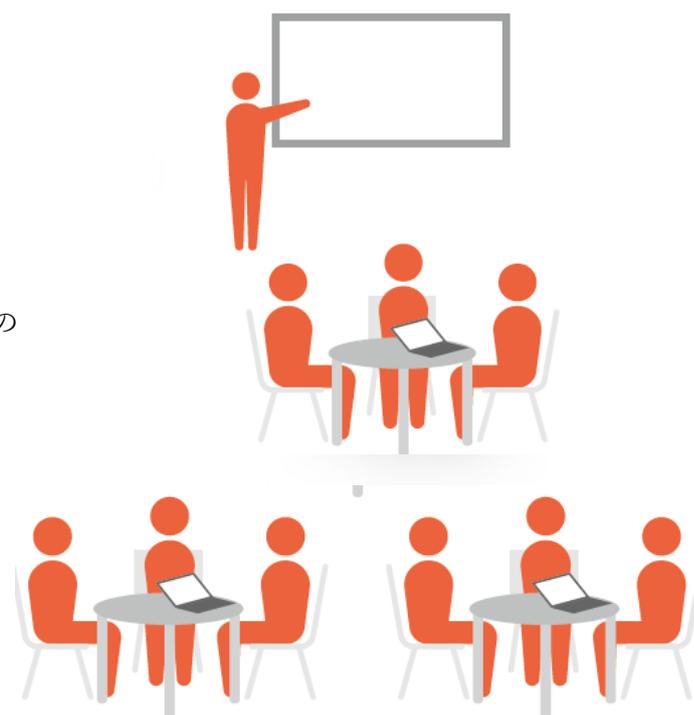
研修は60分を想定して6つの活動で構成されています。(5分の余裕を持たせています。)

順番	活動内容	学習過程	時間
1	本研修の目的を確認する (研修担当者からの説明)	課題の設定	5分
2	情報活用能力ベーシックを知る (研修用ビデオ1の視聴)	情報の収集	15分
3	授業の動画を視聴する (研修用ビデオ2の視聴)	情報の収集	5分
4	授業からの学びを明らかにする (対話)	整理・分析	10分
5	自分の授業への活用を考える (対話)	まとめ・表現	10分
6	研修全体を振り返る (対話)	振り返り・改善	10分

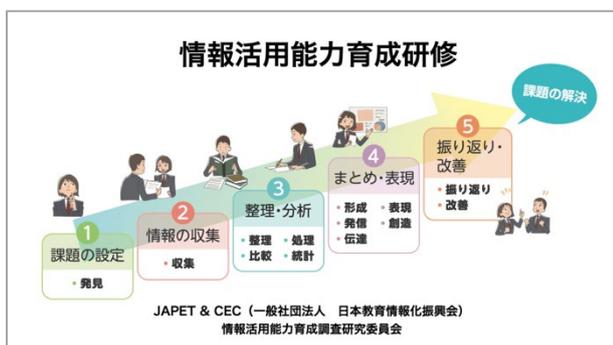
3、グループ編成や会場の準備

以下のチェックリストを読んで、研修がスムーズに進行できますようご準備ください。

- グループ編成
 - ・3~4人で1チームを編成
 - ・グループで対話できるように向き合って配置
- 情報端末の準備
 - ・参加者は1人1台の情報端末を持参
- 投影装置の準備
 - ・前面に大型モニターやスクリーンなどの投影装置の設置
- 音声環境の整備
 - ・PCの音声がクリアに聞こえるように準備
- 授業支援ツールの活用 (プロセス4、5、6)
 - ・意見の共有を円滑にするための授業支援ツールやアプリの活用



4、スライドの内容と研修の流れ



【研修担当者への補足内容】

(0) 表紙

この研修では、研修参加者が、情報活用能力ベーシックの5つの学習過程をビデオを見て理解し、その学習を実際に体験できるように考えられています。

1、本研修の目的を確認する（課題の設定） 5分

この研修では、情報活用能力を育成するためのプロセスを理解するとともに、自分自身の授業改善に生かすことを目的とします。つまり、「自分自身の授業をどのように改善するか」ということが課題ということになります。

また、本研修の流れそのものが、情報活用能力を育成する学習過程になっていますので、体験的に理解することができるようになっていきます。



課題の設定

(1) 本研修の目的を確認する（5分）

ここでは、研修担当者がスライドの文章を読み上げて、目的を確認します。

2、情報活用能力ベーシックを知る（情報の収集） 15分

研修用ビデオ1を視聴してください。内容は大きく三つに分かれています。

- ①情報活用能力とは何か・ベーシックの概要
 - ②情報活用能力を活用した小学校の事例
 - ③情報活用能力を活用した中学校の事例
- 情報活用能力と情報活用能力ベーシックの概要を知ることができます。

考えるための基となる知識の習得の段階と言えます。



情報の収集

(2) 情報活用能力ベーシックを知る（15分）

研修担当者は、スライドの文章を読み上げた後、ビデオ1を参加者に見せてください。

3、授業の動画を視聴する（情報の収集） 5分

研修用ビデオ2を視聴してください。

実際の授業の様子が短くまとめられています。

視聴後に、この授業の良かった点や学びになった点を話し合ってください。情報収集の視点でビデオをごらんください。

これは、考える対象となる情報を収集する段階となります。



情報の収集

(3) 授業の動画を視聴する（5分）

研修担当者は、スライドの文章を読み上げた後、ビデオ2を参加者に見せてください。

4、授業からの学びを明らかにする（整理・分析）

ビデオ2の授業の良かった点や学びになった点を、対話によって明らかにしてください。情報端末を使って共有するのも効果的です。

情報活用能力育成の視点として次のようなことを考えてみましょう。

- ・この授業での情報とは何なのか
- ・5つの学習過程がどう具体化されていたか
- ・教師の働きかけはどうだったか



整理・分析

（4）授業からの学びを明らかにする（10分）

ビデオ2の良かった点や学びになった点を対話によって明らかにしていきます。情報端末を使って共有するのも効果的です。考える視点として次のことを提示するとよいでしょう。

- ・この授業での情報とは何なのか
- ・5つの学習過程がどう具体化されていたか
- ・教師の働きかけはどうだったか

5、自分の授業への活用を考える（まとめ・表現）

グループで、授業の良かった点や学びになった点を参考にしながら、自分の授業への活用を対話によって具体的に考えて明らかにしてください。

「社会科で情報の収集ができるようにする」
「理科で学んだことをまとめられるようにする」
「国語科で振り返りができるようにする」
といった日常の授業改善のアイデアを言語化してみんなで共有しましょう。



まとめ・表現

（5）自分の授業への活用を考える（10分）

4で明らかになったことを基にして、自分の授業への活用を具体的に考えていきます。例えば、「社会科で情報の収集ができるようにする」「理科で学んだことをまとめられるようにする」「国語科で振り返りができるようにする」といった日常の授業改善のアイデアを言語化してみんなで共有していくわけです。

6、研修全体を振り返る（振り返り・改善）

この研修で自分が学んだことは何か（内容知）、自分たちの学び方はどうだったのか（方法知）といったことを対話によって明らかにしてください。

また、同じグループのメンバーの発言や態度から学んだことも言語化してみてください。他者からの学びも重要なポイントです。



振り返り・改善

（6）研修全体を振り返る（10分）

この研修で自分が学んだことは何か（内容知）、自分たちの学び方はどうだったのか（方法知）といったことを対話によって明らかにしてください。また、同じグループのメンバーの発言や態度から学んだことも言語化してみてください。他者からの学びも重要なポイントです。

振り返りを数名に発表してもらったり、情報端末を使って全体に共有して、研修を閉じます。

5、研修用ビデオ教材の内容

（1）研修用ビデオ1（約13分）

情報活用能力ベーシックの概要

（2）研修用ビデオ2について（約4分）

小学校の事例、中学校の事例